

## 日本社会の決まりごと◎目次

はじめ 3

## 第一章 年末年始の決まりごと

酉の市

\*縁起物の熊手で福をかき込む

22

煤払い

\*昔は煤払いが終わると胴上げをした!?

23

歳の市

\*大黒天像を盗むと福を授かる

24

年越し蕎麦

\*なぜ蕎麦を食べるのか

25

除夜の鐘

\*一〇八回という数字は何を意味するのか

26

門松

\*松が表わし示すものとは?

27

注連飾り

\*なぜ裏白をあしらうのか

28

正月

\*正月と小正月がある理由

29

29

|      |                  |    |
|------|------------------|----|
| 屠蘇   | *なぜ年少者から飲むのか     | 30 |
| 雑煮   | *そのルーツは何か        | 31 |
| おせち  | *本来は神さまに供える料理    | 32 |
| 年男   | *もとは正月行事をつかさどる者  | 34 |
| 初詣   | *年神さまは恵方にいる      | 35 |
| 初夢   | *なぜ二日の夜の夢なのか     | 36 |
| 羽根つき | *どうして正月の遊びになつたのか | 37 |
| 七草   | *七草粥を食べて、爪を切つた   | 38 |
| 鏡開き  | *昔は二十日に行なわれていた   | 39 |
| 左義長  | *正月飾りを燃やす行事      | 40 |

## 第一章 春夏秋冬の決まりごと

節分 \*豆と悪臭とトゲで鬼を追い払う 42

|       |                    |    |
|-------|--------------------|----|
| 初午    | *なぜ稲荷神社の縁日なのか      | 43 |
| 針供養   | *淡島明神は針供養の神さま      | 44 |
| 雛祭り   | *男雛と女雛、どちらを右に並べるのか | 45 |
| 彼岸    | *なぜこの時期に墓参りをするのか   | 46 |
| 灌仏会   | *お釈迦さまに注ぐ甘茶とは？     | 47 |
| 八十八夜  | *なぜ「日」ではなくて「夜」なのか  | 48 |
| 端午の節句 | *「端午」とは何のこと？       | 49 |
| 鯉幟    | *そのルーツは「登竜門」       | 50 |
| 七夕    | *なぜ「たなばた」と読むのか     | 51 |
| 川開き   | *花火を打ち上げる理由        | 52 |
| 土用    | *土用は年に四回ある         | 53 |
| お盆    | *その起源は何か           | 54 |
| 盆踊り   | *何のために踊るのか         | 56 |
| 中秋の名月 | *なぜスキを供えるのか        | 57 |

## 第三章 衣服の決まりごと

|       |               |
|-------|---------------|
| 重陽の節句 | *菊酒を飲み、長寿を願う  |
| 十三夜   | *この夜の月見も盛んだった |
| 冬至    | *柚子湯は江戸の銭湯から  |

ちょうよう  
ちゅうやう

じゅうやう

じゅうやう

じゅうやう

じゅうやう

じゅうやう

じゅうよう

右前・左前 \*なぜ左前はよくないのか 62  
吳服 \*その名の由来とは? 63

織り・染め

\*織りは普段着、染めは晴れ着

小袖

\*現代の「着物」のルーツ

65

振袖

\*昔は男児も着ていた

66

留袖

\*既婚女性の第一礼装

67

訪問着

\*絵羽模様が特徴の準礼装

68

小紋

\*小さな模様を型染め

69

64

羽織 \*もとは男性用の衣服 70  
浴衣 \*本来は入浴用の着物 71  
紋 \*どこに、いくつ付けるのか 72  
帯 \*帯にも「織り」と「染め」がある 74  
帯締め \*帯の崩れを結びとめる 75  
扇子 \*挨拶に用いる重要な道具 76  
足袋 \*履いて寝るのはタブー 77  
衣替え \*平安時代の宮中で始まった習わし 78

## 第四章 食生活の決まりごと

|    |                  |
|----|------------------|
| ご飯 | *メシは本来、下品な言葉ではない |
| 赤飯 | *赤い色には邪気を払う力がある  |
| 鰯  | *祝膳に供されるめでたい魚    |

81

80

せきはん

## 第五章 住まいの決まりごと

|       |                   |     |
|-------|-------------------|-----|
| 鬼門    | *便所や浴室を設けるのはタブー   | 102 |
| 三和土   | *なぜ「たたき」というのか     | 103 |
| 床の間   | *本来は美術品の展示場所      | 104 |
| 畳     | *関東よりも関西の畠が大きい理由  | 105 |
| 敷居    | *なぜ踏んではいけないのか     | 106 |
| 襖     | *二回に分けて開けるのが正式の作法 | 107 |
| 上座・下座 | *和室は床の間が基準        | 108 |
| 座布団   | *前と後ろが決まっている      | 110 |

|        |                       |     |
|--------|-----------------------|-----|
| 駆けつけ三杯 | *なぜ「三杯」なのか            | 83  |
| 初物     | *食べると七十五日、長生きできる      | 84  |
| お茶     | *宵越しの茶は飲むな            | 85  |
| 食後     | *食べてすぐに寝ると牛になる!?      | 86  |
| 清酒     | *どうして「〇〇正宗」という銘柄が多いのか | 87  |
| 鮓      | *なぜ「一カン(貫)、二カン」と数えるのか | 88  |
| 秋茄子    | *「嫁に食わすな」といわれる本当の理由   | 88  |
| 蕎麦     | *音を立てて食べてもいいのか        | 90  |
| 会席料理   | *懐石料理とどう違う?           | 91  |
| 箸      | *食事は箸に始まり、箸に終わる       | 92  |
| まないと   | *本来は魚を調理するためのもの       | 94  |
| 刺身     | *日本人はいつごろから食べはじめたのか   | 94  |
| 粽・柏餅   | *関東は柏餅、関西は粽           | 96  |
| おはぎ    | *ぱた餅とどう違うのか           | 97  |
| 食べ合わせ  | *ウナギと梅干し、豚肉とショウガ!?    | 98  |
| 椀      | *食べ終えたら、フタは元通りにかぶせる   | 99  |
| 引つ越し蕎麦 | *蕎麦のように細く長いおつき合い      | 100 |

|     |                   |     |
|-----|-------------------|-----|
| 簪   | *長居の客を帰らせる簪の呪い    | 111 |
| 枕   | *枕には魂が宿る          | 112 |
| 神棚  | *もとはお札を置いた棚       | 113 |
| 便所  | *廁にはどんな神さまがいるのか   | 114 |
| 三隣亡 | *なぜ建築には悪い日なのか     | 115 |
| 地鎮祭 | *土地の神を鎮め、工事の無事を祈る | 116 |
| 鬼瓦  | *屋根の上の魔除けの瓦       | 118 |
| 竈   | *なぜ「へツツイ」と呼ぶのか    | 119 |
| 納戸  | *ここにも神さまがいる       | 120 |

## 第六章 婚約と結婚の決まりごと

|       |                              |     |
|-------|------------------------------|-----|
| 見合い   | *江戸時代、上方で生まれた<br>仲人          | 122 |
| 結納    | *品揃え、飾り方は地域によつて違いがある<br>大安吉日 | 124 |
| 神前結婚式 | *意外に新しく、明治生まれ                | 127 |
| 結婚指輪  | *なぜ左の薬指にはめるのか                | 128 |
| 角隠し   | *嫉妬の角を隠すためのものか               | 129 |
| 白無垢   | *死装束と共に通するものとは?              | 130 |
| 文金高島田 | *その名の由来は何か                   | 131 |
| 三三三九度 | *盆を重ねて結びつきを強くする              | 132 |
| 蛤の吸い物 | *貞女、両夫にまみえず                  | 133 |
| 忌み言葉  | *披露宴で使うのは厳禁!                 | 134 |
| 引出物   | *その最初の品は馬だった                 | 135 |
| 新婚旅行  | *ハネムーンの本来の意味とは?              | 136 |
| 里帰り   | *昔は婚礼後、三日目に帰った               | 137 |
| 結婚記念日 | *一年目は紙婚式、九年目は陶器婚式            | 138 |

## 第七章 礼儀作法の決まりごと

三下り半 みくだりはん \*三行半の長さで書いた離縁状  
縁切り えんきり \*結んだ縁を断ち切る 140

- 表書き ひょうしき \*慶事は濃く、弔事は薄く 142  
水引 みずひき \*結婚祝いには全銀の「結び切り」 144  
熨のし なでのし \*慶事にのみ用いる 145  
お中元 おちゅうげん \*なぜ贈り物を意味するのか 146  
お歳暮 おさいぼ \*いつまで贈り続けばよいのか 147  
餞別 せんべつ \*なぜ「はなむけ」というのか 148  
お辞儀 おじぎ \*背筋を伸ばし、丁寧に、ゆっくり 149  
紹介 じょうかい \*まず目下の人を目上の人へ 150  
握手 こうじゆ \*目上から目下に求める 151

- 名刺 めいし \*目下の人から先に出す 152  
目線 めいせん \*相手のどのあたりを見るのか 153  
正座 せいざ \*そもそも茶道から広まつた? 154 153  
椅子の作法 いすのさくほう \*下座側から座り、下座側に立つ 155  
手みやげ てみやげ \*挨拶のあとに渡すのがマナー 156  
玄関の履き物 げんかんのはきもの \*脱ぎ方にも礼儀がある 157  
茶菓 ちゃが \*どちらを先に出したらいいのか 158  
おいとま おいたま \*それを切り出すタイミングは? 159  
村八分 むらはちぶん \*十の交際のうち八つを断つ 160

## 第八章 お祝いの決まりごと

- 袱紗 ふくさ \*祝儀袋のままで出すのは礼を失する 162  
内祝い うちわい \*本来はお返しの意味ではない 164

## 第九章 伝統文化と信仰の決まりごと

|         |                            |     |
|---------|----------------------------|-----|
| 十二支     | *午前・午後の「午」は十二支に由来<br>千支    | 180 |
| 干支      | *なぜ「えと」と読むのか<br>ダルマ        | 181 |
| 福助      | *江戸時代、実在のモデルがいた<br>招き猫     | 183 |
| 狸の置き物   | *右手はお金を、左手は人を招く<br>案山子     | 184 |
| 絵馬      | *悪臭をかがすから「かかし」<br>七福神      | 185 |
| おみくじ    | *木の枝に結ぶのは凶のおみくじ<br>お百度参り   | 186 |
| お七夜     | *そのメンバーには入れ替わりがあった<br>お宮参り | 187 |
| 食べ初め    | *名前を付け、便所に参る<br>お誕生        | 188 |
| 初節句・初正月 | *はじめての節句と正月を祝う<br>初誕生      | 189 |
| 七五三     | *三つの儀式が江戸時代に合体<br>成人式      | 190 |
| 還暦      | *満六十歳で赤ん坊に戻る<br>古稀         | 191 |
| 年祝い     | *人生七十古来稀なり<br>誕生日の祝い       | 192 |

|         |                        |     |
|---------|------------------------|-----|
| 帶祝い     | *戌の日に腹帶を巻く<br>臍の緒      | 165 |
| 産着      | *短く切ると短気な子になる!<br>お七夜  | 166 |
| お宮参り    | *昔の産着はお守り付き<br>お七夜     | 167 |
| 食べ初め    | *氏子の一員として認めてもらう<br>お誕生 | 168 |
| 初節句・初正月 | *その膳には石を添える<br>初誕生     | 169 |
| 七五三     | *一升の米で搗いた餅を背負わす<br>七五三 | 170 |
| 成人式     | *昔は十二歳から十五歳でもう大人<br>還暦 | 171 |
| 古稀      | *人生七十古来稀なり<br>年祝い      | 172 |
| 誕生日の祝い  | *満六十歳で赤ん坊に戻る<br>古稀     | 173 |
| 七五三     | *人生七十古来稀なり<br>年祝い      | 174 |
| 成人式     | *昔は十二歳から十五歳でもう大人<br>還暦 | 175 |
| 古稀      | *人生七十古来稀なり<br>誕生日の祝い   | 176 |
| 七五三     | *満六十歳で赤ん坊に戻る<br>古稀     | 177 |
| 成人式     | *昔は十二歳から十五歳でもう大人<br>還暦 | 178 |
| 七五三     | *人生七十古来稀なり<br>年祝い      | 179 |
| 七五三     | *満六十歳で赤ん坊に戻る<br>古稀     | 180 |
| 成人式     | *昔は十二歳から十五歳でもう大人<br>還暦 | 181 |
| 七五三     | *人生七十古来稀なり<br>年祝い      | 182 |
| 七五三     | *満六十歳で赤ん坊に戻る<br>古稀     | 183 |
| 成人式     | *昔は十二歳から十五歳でもう大人<br>還暦 | 184 |
| 七五三     | *人生七十古来稀なり<br>年祝い      | 185 |
| 七五三     | *満六十歳で赤ん坊に戻る<br>古稀     | 186 |
| 成人式     | *昔は十二歳から十五歳でもう大人<br>還暦 | 187 |
| 七五三     | *人生七十古来稀なり<br>年祝い      | 188 |
| 七五三     | *満六十歳で赤ん坊に戻る<br>古稀     | 189 |
| 成人式     | *昔は十二歳から十五歳でもう大人<br>還暦 | 190 |
| 七五三     | *人生七十古来稀なり<br>年祝い      | 191 |

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 丑の刻参り | *草木も眠る丑三つどき、ひそかに…… |
| 千社札   | *江戸で生まれた風習 193     |
| 厄払い   | *ふんどしを落として厄を払う     |
| 四国遍路  | *なぜ八十八ヶ所なのか 195    |
| 万歳    | *古くはバンゼイといっていた 196 |
| 手水    | *まず左手から洗い清める 197   |
| 拝礼    | *基本は「二札二拍手一札」 198  |
| 盛り塩   | *盛り砂が盛り塩になつた!?     |

## 第十章 葬儀の決まりごと

末期の水 \*臨終に際し、お釈迦さまは水を求めた 202

湯灌 \*水に湯を加えた「逆さ水」で清める 203

戒名

\*仏の弟子となつたことの証 206

喪服

\*なぜ喪服は黒色なのか 208  
通夜 \*夜を徹して遺体を見守る 205

戒名

\*仏の弟子となつたことの証 206  
喪服 \*なぜ喪服は黒色なのか 208

焼香

\*礼にかなつた仕方とは? 209  
香典 \*金額はつき合いの程度で決める 207

荼毘

\*お釈迦さまも火葬された 211  
清めの塩 \*不淨を清める力がある 212

友引

\*葬式にはよくない日 213  
仏壇 \*仏さまと先祖を祀る 214

位牌

\*死者の靈を象徴するもの 216  
四十九日の供養 \*一週間ごとに七回の供養 218

年忌法要

\*三十三回忌で弔い上げ 219  
卒塔婆 \*上部のギザギザは何なのか 217

遺言

\* 法的に効力を持つ遺言とは？

220

主な参考文献

221

●本文イラスト 大島加奈子  
●編集協力 (株)元気工房

## 第一章 年末年始の決まりごと